

お世話になりました皆様へ

平素より三重大学に対しまして格別のご支援を賜りましてありがとうございます。お陰さまで、三重大学も第3期中期目標・中期計画期間の4年目法人評価を無事に終了することができました。この評価により第4期の運営費交付金の予算額が増減いたしますので、高い評価をいただけることを期待いたしております。さて、私事で誠に恐縮ではございますが、平成27年4月からの任期が本年3月末をもって満了となり、三重大学学長を退任させていただきます。

医学・医療の世界で、医師として仕事をまいりました私にとって、地域で活躍されておられます様々な分野の方々との出会いは、とても貴重であり、幸せな経験でした。大学運営におきましても、企業や地方自治体、地域社会の皆様との連携・協働活動を積極的に展開していくことが、地域創生には必須であることを実感いたしました。

人工知能、IoT、ビッグデータ、ロボティクス等の科学・技術が急速に発達・普及し、パラダイムシフトが進む現代社会においては、多様な人々が、性別、人種、国籍、社会的地位、障害の有無など、その属性によって排除されることなく、誰もが社会の構成員として、あたりまえに存在し、生活することができる社会創りがより強く求められています。人生を逞しく切り開き、自由で独創的な発想のもと、可能性に挑戦していく人材は、インクルーシブな地域社会創りの担い手でもあります。高等教育機関である大学は、そのような地域人材を育成するとともに、地域の知の拠点としての役割を果たしていかななくてはならないと思います。これからも引き続き、三重大学に対しまして、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本来であれば、お一人お一人にお会いして、御礼を申し上げなくてはならないところではございますが、コロナ禍でもあり、書面にてご挨拶申し上げますことをお許しいただければと存じます。学長を退任するにあたり、多くの皆様のおかげで、心から良かったと思える時間を過ごさせていただきましたこととお礼申し上げます。皆様の未来が「前途洋々」たることを祈念いたしております。

令和3年3月吉日

駒田美弘

